



竹田ゆかり市政通信

「通信」という言葉には交流・ふれあいの意味があります

〒248-0024 鎌倉市稲村ガ崎 5-31-11 連絡先 090-3535-4474

E-mail yukari.ain@gmail.com ホームページ <http://yukari-0031.xsrv.jp>

返すに返せない若者33万人

現在大学生の半数以上が奨学金を受給しています。この割合は、この15年間で2.5倍に膨らんでいます。その原因は、70年代半ば以降、公費支出が抑えられ、大学の授業料の値上げが繰り返されたことによるものです。

その結果、日本の大学の学費は、現在世界で最も高い水準となっています。一方で、90年代以降、家計収入は減少の一途をたどり、そのため、大学に行くためには奨学金に頼らざるを得ない人が増え続けることになりました。

奨学金事業は額にして9割が日本学生支援機構によるものですが、有利子枠が増え続け、全体の64%を占めています。

一方、学業を終えて社会に出たものの、非正規雇用の増大により、安定した収入を得ることができない若者が増え、3カ月以上延滞者の46%が非正規雇用が無職です。そして約8割が年収300万円以下の低賃金労働についています。ちなみに、諸外国の奨学金の主流は給付型で、OECD加盟33カ国が大学を無償としています。

学ぶ意欲のある若者が、家庭の経済状況によらず高等教育を受けることができるよう、2月議会において、私の発議により「給付型奨学金制度の創設を含め、奨学金制度の抜本的改革を求める意見書」が議会議案とされ、全会一致で採択され、国に提出されました。

安全な学習環境が事故を未然に防ぐ。

一般質問①

学校現場では、あらゆる場面を想定して、事故を未然に防ぐ取り組みが重要です。昨年12月、老朽化が進んだ横浜市立小中学校で、防火シャッターが落下し、児童がはさまれるという事故がありました。事故の原因が、職員による誤作動によるものか、老朽化によるものか調査中ですが、鎌倉市立小中学校も3校を除き建設時期が古く、老朽化も進んでおり同様の事故が起こらないとは限りません。学校施設の安全対策、維持管理について要望しました。

●防火シャッター

建設時期が古い学校、特にワイヤー交換がなされていない学校について、今後、重点的に点検すること。誤作動が生じないよう職員の研修を行うこと。

●アスベスト

学校施設における非飛散性アスベスト含有・成形板(プラスチックタイル・壁・天井などに使用)の撤去・補修等における適切な作業手順の徹底、子ども達への注意喚起、含有物検査をおこなうこと。

●水銀灯

体育館・夜間照明灯などに使用されている水銀灯の水銀ガスが漏れることがないよう、安全対策・維持管理に努めること。

●AEDの設置

学校敷地外のプールで水泳指導を行う学校については、緊急時に学校まで取りに帰ることが生じないよう、プール用AEDの設置をすること。

●宿泊学習における、医療従事者の配置

宿泊学習時に、学校に養護教諭が不在とならないよう、医療従事者の配置をすること。

横浜地裁、市の申請を却下!

—労働組合事務所立ち退き問題—

2月5日。横浜地裁は、鎌倉市職員労働組合が長年使用してきた事務所の明け渡しを求める仮処分申請を却下しました。却下の理由は、「市は、明け渡させることだけに固執し、和解しようとする意志が感じられない」「本庁舎敷地内から組合を排除することに固執する姿勢があった」「市にとって、御成子ども会館・子どもの家の整備が真に緊急性があるならば、最大限の努力を払ってしかるべき」「市が、解体困難な状況を生み出している」と言うものでした。

却下とは、訴訟要件の審査において、「要件充足せず」と言うことであり、裁判(本訴)となれば、判決に大きな影響を及ぼすこととなります。

市が敗訴した場合、その訴訟費用は市民の税金で支払われます。また、子ども会館・子どもの家の建設も当然見込めないこととなります。

市は、横浜地裁の却下と言う判断を真摯に受け止めるべきです。

外郭団体への再雇用は適切なのか？

一般質問②

市は職員が退職したのちの再任用を行っています。任用は一年ごと更新、任期の末日は65歳に達する日以降の3月31日までとなっています。

2013年度以降、年金の「報酬比例部分」の支給開始年齢が段階的に65歳まで引き上げられることになり、定年退職後「無収入期間」が生じることになりました。そこで、閣議決定により「再任用を希望する者には、年金支給開始年齢に達するまで、フルタイム職に再任用する」こととなりました。

一方、市は長年、退職した管理職の再就職先として外郭団体を斡旋してきました。また、外郭団体に採用された場合、透明性・公平性を保つために、採用数を公表してきました。市の外郭団体とは、市が出資している「土地開発公社」「公園協会」「風致保存会」「芸術振興財団」「社会福祉協議会」「観光協会」「シルバー人材センター」などです。

また長年外郭団体は、市職員に準ずるという意味合いもあり市の給与表を参考にしてきました。

ところが、近年、外郭団体に再就職した場合、本人が職を辞さない限りいつまでも雇用が継続している状況が生まれています。

このことは外郭団体にとって、必ずしも良い影響を与えないと危惧されています。市の出資によって運営されている外郭団体であれば、市職員の再任用規定に準じるのが妥当と考え、質しました。

教職員の心身の健康があつてこそ。

一般質問③

毎日子ども達の前に立つ教職員が、心身ともに健康であることは、とても重要です。子どもたち一人ひとりの心に向き合うゆとりがあつてこそ、子ども達の成長やわずかな変化に気づき、適切な対応を取ることができます。

2015年度に策定された、鎌倉市教育大綱の重点施策に、「教職員が心身の健康を維持するための支援」が挙げられています。具体的な予算への反映や現在検討されている内容を聞きました。

答弁

<予算への反映>…経過報告に記載

<検討内容>…①教職員に一台ずつのパソコン配置検討。②給食会計事務にかかる時間のヒアリング調査実施。

加えて、教職員のための労働安全衛生委員会の設置を求めました。

緑の洞門、開削して何を得るのか

「陳情 39号 円覚寺境内境界北尾根を『国指定史跡円覚寺境内』に追加指定することについて」が、教育子どもみらい常任委員会に付託されました。審議の結果、多数挙手により採択されましたが、本会議において、少数否決となりました。

陳情の趣旨は、「そもそも『国指定史跡円覚寺境内』が指定された理由は、国重要文化財『円覚寺境内絵図』に則る、となっている。今問題となっている北鎌倉駅裏トンネル(緑の洞門)を含む岩塊はこの『円覚寺境内絵図』に描かれている。更には保存管理計画書に『可能な限り史跡の追加指定をしていく…』と書かれている。よって、追加指定のための調査を行うことを求める」というものです。

開削工事の事業者も決まっているが、今一度立ち止まって、調査をしてからでも遅くはないと思います。残したい風情・残すべき史跡・忘れてはならない明治史遺産…。安全対策と両立できる道を選ぶべきです。開削によって何を得るのか、市は説明しきれしていません。

42年前、保育園落ちたの、私です!

42年前は、育休制度がなく、産後8週間で職場復帰しなければなりません。しかし保育園の空きがなく、やむなく千葉の実家に預けることになり、毎週末、実家で待つ子どもに会いに行く生活となりました。今思い出しても大変つらい思い出です。

2015年全国待機児童数23,000人。鎌倉市、待機児童数150人。国の基準でカウントする(入所できたら仕事を探したい人や、育休を延長した人を除く)と50人。42年前と何も変わっていません。保育士を確保するための手だて、運営補助費の拡充などなど、市の急ピッチな対応が求められます。

経過報告

2016年度予算に反映されたこと

*5年生宿泊学習に医療従事者の配置。16人

*スクールアシスタント3人増。

*心のふれあい相談員時間数152時間増。

*学級支援員時間数620時間増。

*教育相談員1人増員。

*学習支援事業10月よりスタート。(生活困窮者自立支援法による任意事業)

(仮称)歴史文化交流センター16年度末開館予定
鎌倉の子ども達が、鎌倉の歴史を学ぶ場を…と第1回目の一般質問から訴え続けてきたことが、ようやく実現。子どもから大人まで歴史を学ぶことができる歴史文化交流センター。子どもたちの学習室も整備され、体験学習もできる予定です。